

# 2006 年度 愛知大学後援会課外活動奨励賞授与式 愛知大学同窓会奨励賞授与式



◀愛知大学旧公館

日時 | 2007年3月3日(土)10:30 ~ 12:00

場所 | 車道校舎 3階コンベンションホール

## プログラム

- 一. 開式
- 一. 愛知大学後援会課外活動奨励賞授与式
  - ご挨拶 愛知大学後援会会長 田中和彦
  - 選考結果報告 学生部委員長 土橋 喜
  - 奨励賞授与
- 一. 愛知大学同窓会奨励賞授与式
  - ご挨拶 愛知大学同窓会会長 安井善宏
  - 選考結果報告 同窓会広報委員長 加藤満憲
  - 奨励賞授与
- 一. 愛知大学学長激励の辞  
愛知大学学長 武田信照
- 一. 受賞者代表謝辞  
課外活動奨励賞受賞者代表  
同窓会奨励賞受賞者代表
- 一. 閉式
- 一. 受賞記念パーティー(1階カフェラウンジ)

愛知大学後援会 / 愛知大学同窓会

## ●最優秀奨励賞

## 個人

さけみ けんいち  
酒見 賢一氏

1988年(昭和63年)文学部哲学専攻卒業



〈古代中国を題材にした『自由な発想と斬新な解釈』による作品を発表して活躍中〉

## ◆ 推薦要旨 ◆

『後宮小説』にて1989年に制定された第一回日本ファンタジーノベル大賞を受賞し、25歳でファンタジーノベルの旗手といわれて中央文壇に登場。以来、主に古代中国を題材にして「自由な発想と斬新な解釈」による作品を数多く発表して活躍中。

架空世界を実際の歴史とたくみに混淆し、細部を積み重ねることで圧倒的にリアルな物語世界を作り、今までにないタイプのファンタジーノベルを誕生させたとして、全選考委員の絶賛を集め、多くの読者を獲得している。

## ◇ 略歴 ◇

1988年 愛知大学文学部哲学専攻卒業 / 1989年 『後宮小説』で、第1回日本ファンタジーノベル大賞受賞 / 1990年 『後宮小説』第102回直木賞候補となる / 1991年 『墨攻』第104回直木賞候補となる / 1992年 『墨攻』『陋巷に在り』で、第4回中島敦記念賞受賞 / 2000年 『周公旦』で、第19回新田次郎文学賞受賞 / 2007年 『墨攻』が日韓中合作の映画作品として公開

やまだ こうへい  
山田 耕平氏

2003年(平成15年)現代中国学部卒業



〈エイズ予防を歌で訴え、HIV感染予防に大きく貢献〉

## ◆ 推薦要旨 ◆

卒業後の2003年12月から2006年3月まで独立行政法人国際協力機構(JICA)の青年海外協力隊員として、アフリカのマラウイ共和国に滞在。エイズウイルス感染率15%の危機的状況を目の当たりにし、歌でエイズ予防を訴えようと、同国の人気歌手ムラカ・マリロさんと共に、自発的カウンセリングと検査を推奨する曲を制作。山田さんが英語で書いた歌詞をマリロさんが現地語に訳し、ポップ調の曲をつけた「ディマクコンダ(愛してる)」は、同国のヒットチャートで一位となった。その功績が評価されNEWSWEEK誌の「世界が尊敬する日本人100人」の一人に選ばれている。

## ◇ 略歴 ◇

1998年 愛知大学現代中国学部入学、中国現地プログラムに参加(中国・天津3ヶ月) / 2000年4月～2002年3月 台北師範大学留学 / 2003年 愛知大学現代中国学部卒業 / 2003年12月～2006年3月 JICA青年海外協力隊の村落開発普及員としてマラウイ共和国で勤務

## ●優秀奨励賞

## 個人

いとう かずこ  
伊藤 佳寿子氏

現代中国学部4年次生



〈第24回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会1位受賞〉

## ◆ 推薦要旨 ◆

2007年1月14日東京・日中友好会館にて開催された中国語スピーチコンテスト(社団法人日本中国友好協会主催)の一般部門最終審査において1位に輝き、また外務大臣賞、日中友好協会会長賞、中日友好協会賞の3賞を同時に受賞した。「跳出排他性民族主義的圈子」(排他的ナショナリズムを乗り越える)をテーマにスピーチを行い、1位の快挙を獲得したことは、努力の賜物であるといえる。

## ◇ 略歴 ◇

2002年 愛知大学現代中国学部入学 / 2003年 中国現地プログラムに参加 / 2004年7月 中国(ハルビン)現地研究調査に参加 / 2004年8月～2005年7月 上海交通大学留学

じんどう えみ  
神藤 絵美氏

経済学部3年次生



〈数々の弓道選手権大会にて、個人で優秀な成績を修め、又、団体勝利の原動力となる〉

## ◆ 推薦要旨 ◆

平成18年度は以下の成績を修めた。  
1. 第39回愛知県下学生弓道選手権大会において女子個人の部優勝  
2. 第50回東海学生弓道女子秋季リーグ戦において個人優勝と皆中賞受賞  
3. 第30回全日本学生王座決定戦において女子個人として優秀選手賞、皆中賞受賞。なお本大会では、女子団体は準優勝を獲得した。  
個人の部で優秀な成績を修めるとともに団体勝利の原動力となった。

## ◇ 略歴 ◇

2004年 愛知大学経済学部入学

いとう えり  
伊藤 えり氏

現代中国学部2年次生



〈第20回全日本学生中国語弁論大会1位受賞〉

## ◆ 推薦要旨 ◆

2006年11月25日に京都外国語大学で開催された第20回全日本学生中国語弁論大会(京都外国語大学・上海教育国際交流協会主催)において1位となった。同弁論大会は大阪外国語大学、京都外国語大学、名古屋外国語大学、神戸市外国語大学、北九州市立外国語大学、広島大学、大東文化大学からの学生代表が参加し、中国語のスピーチを競ったものである。「为了活出个自己的样子(自分らしくあるために)」と題したスピーチを行い、好成绩を得たことは、努力の賜物である。

## ◇ 略歴 ◇

2005年 愛知大学現代中国学部入学 / 2006年 中国現地プログラムに参加

# ● 奨励賞

## 個人

### 三浦 八千代 氏 | 元愛知大学短期大学部学部長



#### 〈愛知大学への長年に渡る多大なる貢献〉

##### ◆ 推薦要旨 ◆

愛知大学短期大学部に着任されてからは、教育学生指導に選任され、特に女子の学生指導に力を注いできた。その後、短期大学部の部長職(学長相当)に女性として当たり長らく務めてきた。又、名古屋市教育委員会委員にも選ばれ、その期間には委員長にも選任され、その任に当たってきた。常に愛知大学を思い、愛知大学卒業生を愛し、女子高等教育のために傾注している。

##### ◇ 略歴 ◇

1970年 愛知大学短期大学部 着任 / 1980年 愛知大学短期大学部教授 就任 / 1984年 愛知大学短期大学部長 就任、1992年10月～1993年9月、1996年10月～1997年9月 名古屋市教育委員長 / 1999年 愛知大学短期大学部教授 退任

### 奥田 廣實 氏 | 1952年(昭和27年)旧制法経学部経済学科



#### 〈[鎌倉史蹟めぐり]の案内を通し、愛知大学同窓会の親睦と啓蒙に貢献〉

##### ◆ 推薦要旨 ◆

鎌倉史蹟めぐりは神奈川支部のイベントでありながら、恰も関東四支部のメインイベントの如くに成長し、昨年第10回を達成し、50人超の参加者を集めている。普通の観光案内と異なり本人が足で稼ぎ探索した結果での蘊蓄ある説明に、参加者全員が感銘することしきりで、回を重ねる毎に参加者が増加している。毎回夫婦同伴で数組が参加しており、和やかな雰囲気のもと、10年間継続して、関東四支部会員並びに会員家族の親睦と啓蒙に大いに貢献している。

##### ◇ 略歴 ◇

1952年 旧制愛知大学法経学部経済学科卒業後、株式会社日本製鋼所に勤務 / 1985年 定年退職 退職後、町内会長・横浜市金沢区文化協会事務局長・みろく山の会スケッチハイキングリーダー等を歴任。 / 1988年 『私の東海自然歩道』出版 / 1995年 画文集『私の鎌倉古寺散歩』出版 / 2006年 随筆『私の平成つれづれ草』出版 / 現在、1997年から10年に亘り神奈川支部主催『鎌倉史蹟めぐり』案内役を務める

### 田中 良 氏 | 1956年(昭和31年)法経学部経済学科卒業



#### 〈人権問題、エイズ問題、及び男女共同参画問題その他についての精力的な講演活動〉

##### ◆ 推薦要旨 ◆

本学卒業後、高等学校教員に一旦就職したが、1992年に退職。同年“人間と性”教育文化センターを設立、所長に就任。その後、岐阜県審議会「女性の世紀21」委員その他数多くの公職を歴任し、更には「エイズさぼーとぎふ」を立ち上げ、その代表者に就任。全国各地で年間150回に及ぶ講演活動を精力的に行っており、中国、アメリカ、イギリスなど世界各地でエイズ問題などについて研究交流をしており、韓国やタイでは招請を受けて講演を行っている。

また、岐阜医療技術短期大学、岐阜県立衛生専門学校外いくつかの大学で講師をするなどし、中学校「道徳」副教材・「健康教育大辞典」その他多数の著書を執筆発刊し、エイズ問題の教育に熱心に取り組んでいる。

##### ◇ 略歴 ◇

1956年 愛知大学法経学部経済学科卒業、高等学校教員に就職 / 1992年 退職 / 2000年 岐阜県人権擁護啓発機構より「人権大賞」受賞 / 2001年 中日新聞社より中日社会功労賞受賞 / 2004年 岐阜市より人権功労賞受賞 / 現在 “人間と性”教育文化センター所長 岐阜県人権懇話会委員、などを務める

### 小川 悟 氏 | 1958年(昭和33年)法経学部経済学科卒業



#### 〈正しいビジネス文書の指導・普及活動〉

##### ◆ 推薦要旨 ◆

1995年に退職後、ビジネス文書の書き方について研究研鑽し、2002年には日本経済新聞社から『正しいビジネス文書の書き方』を出版し、本書は現在8刷のベストセラーとなっている。これをテキストに多くの企業・大学を対象に指導をし、現在に至っている。その数は180社以上、3万人以上となる。

愛知大学においても一般講習と特別講習を実施し成果を挙げている。同窓会においても若い同窓生に対して指導をしている。

##### ◇ 略歴 ◇

1958年3月 愛知大学法経学部経済学科卒業 / 1995年1月 富士ゼロックス株式会社退社、表現技術研究所・代表『正しいビジネス文書の書き方・美しい敬語の話し方』指導 / 1996年2月 株式会社富士ゼロックス総合教育研究所 文書教育トレーナー / 1996年8月 株式会社ナカチ経営研究所(元日本公認会計士協会会長・中地宏氏)に所属 / 現在、経営アドバイザー(人材育成・業務体質の強化・株式会社)として活躍中

### 鈴木 英治 氏 | 1960年(昭和35年)文学部文学科卒業



#### 〈『日中同文のかけはし』刊行者への協力と励まし〉

##### ◆ 推薦要旨 ◆

『中日大辞典』の完成に全力を注いだ欧陽可亮氏とその妻である張祿澤氏の追悼文集「日中同文のかけはし」が、お二人の娘である関登美子氏(旧姓: 欧陽效平)の手によって刊行される際、発起人となって、関係者に寄稿等協力を依頼するとともに、関氏に多大な協力と励ましを与えた。

##### ◇ 略歴 ◇

1960年 愛知大学文学部文学科卒業、愛知県立新城高等学校にて教鞭(国語・漢文担当) / 1962年～ 千葉県三育学園高等学校にて教鞭(国語・漢文担当) / 1968年～ 社会福祉法人愛知県厚生事業団に勤務(希全センターなどで生活指導員) / 1996年～1998年 愛知県立宝陵高等学校専攻科にて教鞭(社会福祉担当) / 2005年8月 『日中同文のかけはし』刊行に尽力 / 現在、雑誌などに文筆活動を続けている。

よしだ くにお  
**吉田 剛雄氏** | 愛知大学柔道部メンタルアドバイザー

〈愛知大学名古屋体育会柔道部学生へのメンタルサポート〉



◆ 推薦要旨 ◆

愛知大学柔道部のメンタルアドバイザーとして、部員のメンタル面のサポートを中心に積極的な活動を展開している。柔道部は名古屋校舎の特別強化部に認定されており、試合で一定以上の結果が求められることなどから、勉学や就職活動との両立という面で日常的に不安を抱える部員が多く、因に試合前には緊張の度合いは高くなるため、頻りにメンタルケアが必要となる。結果、今年度柔道部としては、部員が10名程度の少人数であるが、およそ10年ぶりに東海地区で準優勝を収め、また個人でも2名が優勝、他4名が入賞するなど、近年では数少ない好成績を収めることができた。これらの結果は、部員各自の努力のみならず、部員のメンタル面の充実を図った吉田氏の尽力は欠かせないものであった。

◇ 略歴 ◇

1983年4月～1988年3月 学生相談員として、カウンセリング業務を担当 / 2000年4月～2003年3月 文部科学省 就職問題懇話会・就職問題検討委員会各委員、日本私立短期大学協会 就職問題委員会副委員長 / 1999年4月～2003年3月 愛知県私立大学・短期大学就職問題懇話会会長兼職 / 2006年4月 愛知大学柔道部メンタルアドバイザー就任

かすみ はなゆう  
**霞 花遊氏** (本名: **杉本 純子**) | 1971年(昭和46年)愛知大学短期大学部生活科卒業

〈日本舞踊の新流派霞流を創流〉



◆ 推薦要旨 ◆

既存の流派を離れ、霞流を創流し、昨年、豊田市民文化会館大ホールにおいて盛大に20周年を迎えた。古典はもとより、創作にも取り組み、歌舞伎舞踏公演、国立劇場出演など幅広く活躍。又、豊田日舞協会の代表を務め、和楽器、日舞体験学習等にも尽力している。新豊田市に、日本舞踊という伝統に基づきながら、新しい風となるべき霞流を定着させた。

◇ 略歴 ◇

1971年 愛知大学短期大学部生活科卒業 / 1975年 日本舞踏水木流師範 / 1977年 稽古場発足 / 1981年 「かすみ会」旗揚げ公演、以後毎年公演 / 1987年 日本舞踏「霞流」創流、以後毎年公演 / 1998年 スペイン親善大使としてスペインにて舞踏公演 / 2006年 霞流創流20周年記念公演、国立劇場出演

みずたに えいじ  
**水谷 英二氏** | 1980年(昭和55年)愛知大学法経学部法学科卒業

〈サラ金、ヤミ金、多重債務者救済活動〉



◆ 推薦要旨 ◆

愛知かきつばたの会事務局長として、多年にわたり、約200万人のぼるといわれる多重債務者や被害者の救済活動に力を注いできた。この活動は、新聞やテレビに幾度も取り上げられ、結果、世論の喚起を呼び、内閣に「多重債務者対策本部」が設置されるに至った。現在も多重債務者及び家族の救済活動に精力を傾けている。

◇ 略歴 ◇

1980年 愛知大学法経学部法学科卒業  
現在、水谷司法書士事務所所長、愛知かきつばたの会事務局長

あおき たかひろ  
**青木 高広氏** | 2004年(平成16年)愛知大学経済学部卒業

〈広島カープに入団。期待の大型左腕〉



◆ 推薦要旨 ◆

愛知大学入学後4年間硬式野球部にて投手として活躍。4年生の春には、36年ぶりの全日本大学野球選手権大会出場に貢献した。日産自動車株式会社就職後は、同社硬式野球部に所属。都市対抗野球大会において2005年、2006年と2年間準優勝を飾った際、大きく貢献し、2006年には神奈川地区予選大会で敢闘賞、本大会では優秀選手賞を獲得した。決して順風満帆ではなかったが、努力によって強靱な肉体と精神力と身に着けたことにより、昨秋のドラフト会議にて、広島東洋カープより指名を受け、入団した。

◇ 略歴 ◇

2000年 愛知大学経済学部入学 / 2004年 愛知大学経済学部卒業、日産自動車株式会社入社 / 2007年 広島東洋カープに入団

いせき みき  
**井関 美希氏** | 愛知大学法学部3年次生

〈平成18年度東海学生空手道連盟学生委員長として、学生空手道の発展に尽力〉



◆ 推薦要旨 ◆

平成18年度東海学生空手道連盟学生委員長 兼 全日本学生空手道連盟学生副委員長として、女性としての優しさと心配りをもって、加盟40大学の空手道部をよく統率し、学生空手道部の発展に尽力。愛知大学の信頼と名声を東海及び全国に広げた。

◇ 略歴 ◇

2004年 愛知大学法学部入学

# ● 奨励賞

## 団 体

### 愛知大学弓道部 代表：男子主将 山本 和也、女子主将 安元 千晶

〈数々の弓道選手権大会で優秀な成績を修める〉

#### ◆ 推薦要旨 ◆

平成 18 年度の以下の優秀な成績を修め、愛知大学の名前を全国に広めた。

- |   |                          |
|---|--------------------------|
| 1. 第 49 回東海学生弓道選手権大会                        | 男子：団体優勝<br>女子：団体優勝       |
| 2. 第 39 回愛知県下学生弓道選手権大会                      | 男子：団体優勝<br>女子：団体優勝       |
| 3. 第 54 回全日本学生弓道選手権大会                       | 男子：出場ベスト 16<br>女子：団体 3 位 |
| 4. 第 50 回東海学生弓道秋季リーグ戦<br>第 49 回東海学生弓道秋季リーグ戦 | 男子：一部団体 3 位<br>女子：一部団体優勝 |
| 5. 第 30 回全日本学生弓道女子王座決定戦                     | 女子：団体準優勝                 |



### 愛知大学法学部 3 年模擬裁判プロジェクトチーム 代表：高麗 貴文

〈「学生主体の企画・運営」と「地域貢献」とをドッキングさせた愛知大学法学部ならではの模擬裁判を開催〉

#### ◆ 推薦要旨 ◆

「法律学特殊講義」（担当：豊田兼彦法学部助教授）の受講生を中心とした模擬裁判プロジェクトチームにより市民を対象とした模擬裁判を開催。当日は会場となったコンベンションホール（収容人員 350 名）が満席となり、テレビ局や新聞社も取材に訪れた。

今回の試みの特色は、「学生主体の企画・運営」と「地域貢献」とにあり、学生が主体となって企画・運営し、その成果を広く一般公開して地域社会への貢献をも試みたものである。このことは、法学部教育と大学の地域貢献とをドッキングさせた愛知大学法学部ならではの特色ある模擬裁判であり、一般の方々の裁判への関心を高めることにつながったものといえ、愛知大学法学部の特色を広く知らしめた。



### 愛知大学総合ゼミ 坂東 昌子ゼミ

〈エコキャンパスフェスティバルに参加。環境スピーチコンテストにて優勝〉

#### ◆ 推薦要旨 ◆

総合ゼミでは、名古屋市と共同して環境問題に取り組み、授業と名古屋市民を結びつける活動を展開し、年を経る毎に幅を広げている。そのゼミ長・鶴飼君は、自分一人が目立つのではなく、イベントを設定し、適切にゼミのメンバーを励まし、全体として層の厚い活動を組織するという点で賞賛に値する。名古屋市環境局と連携して、環境デーでは、「エネルギー」を説明する理科実験道具を作成し、子供たちへの公開実験・舞台発表をやり遂げ、名古屋市環境局の担当職員の片腕となり推進役になった。

また、11 月に開催された EPOC& 愛知県私立大学環境問題懇話会エコキャンパスフェスティバルに参加し、結果、パネルディスカッションでは名古屋大学院生と同格で渡り合い（代表・倉地君）、スピーチコンテストでは、「教科書リサイクル」をテーマにスピーチ（前川君）し、愛知大学が優勝した。

ゼミの固い結束力により上記の成果を挙げていることは、賞賛に値する。



### 愛知大学経済学部 佐藤 元彦ゼミ

〈履修生の能力向上に成果〉

#### ◆ 推薦要旨 ◆

発展途上地域において、海外現地調査を毎年続けている。また、国内においては「地域づくり」に関与しながら、その共通項を求めて活発にゼミ活動を行い、履修生の能力向上に成果を挙げている。

2006 年度は、「地域における多文化共生～ゴミ問題を通して考える～」をテーマ設定し履修者の積極的・自主的な運営の下にゼミ活動を実施している。タイ等で海外調査を行った他、他大学の同類のゼミとのディベート合宿を実施。さらに、高校生との高大連携ゼミを実施し、昨年 10 月 4 日には、ゴミ問題をテーマに、豊橋商業高校生をまじえた公開パネルディスカッションを開催、その活動は豊橋市制 100 周年記念事業として認定され、成果を挙げた。



### 愛知大学経営学部 藤本 光夫ゼミ

〈継続的な本来のゼミ活動の充実により、学生の能力向上に多大な成果〉

#### ◆ 推薦要旨 ◆

本来のゼミ活動の充実により、学生の能力向上に多大な成果を挙げている。

ゼミ運営は、ゼミ長・サブゼミ長をおき、渉外・論集・合宿・交流会・会計・OB 等の係のもとにゼミ生の自主運営を基本としている。現代企業論、多国籍企業論、国際企業論の立場、範囲から各ゼミ生がテーマを設定し、研究したものを発表し、討論をしている。また、中部地区大学の類似ゼミとの、研究報告合同発表会を開催し、交流を行ってきた。発行を続けている論集は、本年で 28 号となる。現役ゼミ生と OB の交流が盛んであり、本来のゼミ活動の充実が学生の絆を強めている。



# ●資格試験奨励賞

## 司法試験



おかだ たかふみ  
岡田 貴文

2006年法科大学院法務研究科修了



くさの ゆみこ  
草野 有美子

2006年法科大学院法務研究科修了



こいずみ とも  
小泉 友

2006年法科大学院法務研究科修了



しみず なつこ  
清水 奈津子

2006年法科大学院法務研究科修了



すぎもと みさき  
杉本 みさ紀

2006年法科大学院法務研究科修了



たかぎ みさき  
高木 美咲

2006年法科大学院法務研究科修了



にわ えりこ  
丹羽 恵里子

2006年法科大学院法務研究科修了



ほその ゆうこ  
細野 優子

2006年法科大学院法務研究科修了



まつなが けいた  
松永 圭太

2006年法科大学院法務研究科修了



もり ゆきお  
森 由紀夫

2006年法科大学院法務研究科修了



もりた しょうげん  
森田 祥玄

2006年法科大学院法務研究科修了



やまたに ひろあき  
山谷 彰宏

2006年法科大学院法務研究科修了



あさい さだはる  
浅井 貞晴

2006年法科大学院法務研究科修了

## 公認会計士



おざわ ひろよし  
小澤 宏芳

2006年経営学部卒

## 愛知大学同窓会奨励賞授与取扱要項

### 目的

この取扱要領は、本会会員(滬友会、推薦校友を含む。)並びに愛知大学関係者(教職員、在学生等)が社会・文化・学術・芸術・スポーツ等の分野に於いて活躍し、または、これらの分野で活躍することが期待される個人又は団体に対し、愛知大学同窓会(以下「同窓会」という。)が「同窓会奨励賞」を授与するために定める。

### 表彰

表彰は、会員から推薦または申請のあった個人及び団体に対し、選考の結果、個人にあっては表彰状並びに副賞(記念品)、団体にあっては表彰状並びに副賞(奨励金)を授与する。

### 推薦

候補者の推薦(自薦を含む。)は、毎年12月20日までに社会・文化・学術・芸術・スポーツ等の分野で活躍のあった個人又は団体について、活躍の内容をまとめた推薦書(800字程度)を同窓会会長宛に提出する。ただし、叙勲及び功労賞等の授賞者は対象から除くものとする。

### 申請

資格試験奨励賞は、毎年12月20日までに、会員から同窓会会長宛に申請書および合格したことを証明する書類(写し)を提出する。

### 選考

会員から推薦のあった個人及び団体について、同窓会広報委員会で選考し、同窓会常任理事会で決定する。

### 表彰の種類

表彰の種類は、個人、団体とも次のとおりとする。

#### A 最優秀奨励賞(全国レベルでの活躍)

個人…記念品 10万円相当

団体…奨励金 10万円

#### B 優秀奨励賞(地域レベルでの活躍)

個人…記念品 5万円相当

団体…奨励金 5万円

#### C 奨励賞(一般的な活躍)

個人…記念品 3万円相当

団体…奨励金 3万円

#### D 資格試験奨励賞

愛知大学(大学院、学部、短大)に在学中又は卒業後3年以内の者で以下の試験に合格した者。

#### 【対象資格試験】

1 司法試験(最終合格) 2 公認会計士第2次試験 3 弁理士試験 4 国家公務員第I種試験 5 司法書士試験 6 税理士試験

個人…記念品 3万円相当

### 附則(制定)

この取扱要領は、2003年1月18日から施行する。

この改正取扱要領は、2006年5月13日より施行する。